

諸外国の母子保健施策 3

研究第1部 堀 口 貞 夫
 研究第5部 網 野 武 博
 研究第4部 水 野 清 子
 染 谷 理 恵
 研究第3部 加 藤 忠 明
 研究第1部 千 賀 悠 子

目的

今後のわが国の母子保健行政および施策のあり方や具体的展開の内容、方法を検討するため、継続的に国際比較研究をすすめているが、本年度においては、主としてわが国と比較的共通の社会的、経済的基盤を持つ欧米諸国を対象に比較分析を行ってきたものについて考察的なまとめを行ない、また1984年及び1985年に実施した世界の母子保健水準にかかわる指標の作成にひき続き、その5年後の状況について再び世界の母子保健水準に関する検討を加えることとした。

I 欧米諸国の比較分析とその考察的まとめ：今後のわが国の周産期医療のあり方を中心に

わが国では、日本母性保護医協会により、産科救急センターの構想が1971年に示され、新生児救急医療システムについての研究班報告が1976年にまとめられた。更に1980年には、日本母性保護医協会の周産期委員会による「周産期医療の地域化構想」が発表された。しかしその後、新生児、未熟児医療はNICUを中心とした地域化はすすめられたが、周産期医療全体に関しては、二〜三の府県で試みられているに過ぎない。個々には高い水準に達している周産期医療の効果を社会に還元するためには、地域化が必須であり、かつそのシステムの有効な運営が必要である。それを実現するための問題点は、およそ次のようにまとめられると思われる。

1 医療施設のレベル化

米国においても1970年代後半に周産期医療の地域化をすすめていく上で最も困難であったのは、このレベル化と、レベルⅢの施設を中心としたネットワークを組むことであったという。わが国では、全分娩の43%が診療所（ベッド数20床未満）で行なわれており、55%を占める病院での分娩も、平均年間分娩数 478という比較的小規模の施設によるものが多い（1983年調査の 530施設）。年間 135万の分娩に際してみられる妊産婦死亡は 162例

で、およそ8300分娩に1例の割合である。年間分娩数 500の施設では、17年に一回起こるかもしれない妊産婦死亡に完全な対応をすることはきわめて難しいことが理解できよう。そしてこのように規模が小さいにもかかわらず、個々の施設は、米国のレベルⅠで示される基準よりも広い範囲の診療を行なっているのが特徴である。⁽¹⁾

このような状態でのレベル化の基準は、それぞれの施設の機能によって行なうべきで、例えば帝王切開は15分以内でできるか、輸血用血液は24時間確保できるか、臨床検査、レントゲン検査は24時間確保できるか、常に麻酔医が対応できるか、等々である。

2 レベルⅢ施設の機能

レベルⅢの病院は、システム内で起こるあらゆる事柄に対応しなければならないので、次のような高度の機能を要求される。

- ① 24時間コンサルテーションに応じられること（母体搬送が必要かどうかは、その中で決定される）
- ② 24時間あらゆる種類の産科患者を受け入れられること（医学的知識、経験にとどまらず、短時間に患者や家族の信頼を確立する能力も含まれる）
- ③ 地域周産期医療の機能向上のための教育、研修を実施できること
- ④ 治療の正当性と評価を常に行なう状態になっていること
- ⑤ システム・マネージメントができること

わが国においても、レベルⅢを担うのは、大学付属病院が中心となると思われる。しかし在京の13大学を見ても、分院まで含めての年間分娩数は、402～1468（平均828）であり、学部教育、専門医養成のための教育がやっとならぬ。一方、年間分娩数が1000を超える施設は、都内に12あり、大学 3、日赤 3、公立病・産院 4、私立病院 2である。24時間体制でハイリスク症例を引き受けることができるようにするには、システムとしての

運営が必要である。

3 搬送システム

わが国の患者の救急搬送は、消防庁または消防署所属の救急車によるものが大部分であり、訓練を受けた救急隊員が同乗しているだけである。周産期救急搬送の場合には、専門的な医療を併行して行なう必要があることが多いことは先にも触れたが、これが可能なのは、日赤医療センター、聖隷浜松病院、都立築地産院、都立大塚病院など限られた病院所有の救急車だけである。1987年5月より、東京消防庁で救急隊指導医制度を発足させた。災害救急情報センターに救急医療専門医を24時間体制で配置し、救急隊員や医療機関への助言、指導を行なうものである。しかし必要な医療処置が取れないことが問題となっており、米国の「特別救急医療士」制度の導入も必要かと思われる。

4 周産期医療システムの運営

諸外国の周産期医療システムを参考とし、今後のわが国の運営にあたり注意すべきことをまとめると、次のとおりである。

- ① 地域の要望を常に把握し、利用できる社会資源を把握して活動すること。更にその結果を評価しつつ活動を続け、適応させるダイナミックさが必要である。
- ② レベルⅡ、Ⅲのみの開発を過度に強調することはマイナスが多い。レベルⅡ、Ⅲであっても、様々なレベルのケアが必要なことは当然である。
- ③ システム全体としては基準化する必要があるが、それぞれの地域に適合したものにする必要がある。
- ④ 病院のリーダーは、その病院が地域の中でどのような役割を果すのかを決定する機会と責任を持っている。施設の全く独自の活動は、地域の目標、目的にとって障害となることに注意する必要がある。

註(1) 米国におけるレベルⅠで示される基準については、下記の文献を参照されたい。

堀口貞夫他『母子保健、児童福祉に関する国際比較研究 1. 諸外国の母子保健施策』

日本総合愛育研究所紀要第23集 P.251

1988 2

II 世界の母子保健水準にかかわる指標 その2

1 方法

1984年及び1985年に実施した世界の母子保健水準にかかわる指標の作成に引き続き⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾、その5年後の状況について世界の母子保健水準に関する検討を加えた。本年度は、世界の母子保健水準にかかわる指標を作成するために、関連する項目を抽出して、個々の項目毎にその水準となるデータを集積した。

(1) 抽出項目及び資料出典

母子保健にかかわる指標として考えられる項目を前回の項目をさらに拡大して選択した。項目数は、下記の通り47、細項目数は60であり、引用した計数及び算出した計数の資料出典は、< >のとおりである。

前回の項目に若干の変更を加えた項目のNOには◇を、前回含まれていなかった項目のNOには、☆を付した。

- 1 人口密度<ユネスコ文化統計年鑑 1987>
- 2 人口<Demographic Yearbook 1987 >
3. 人口の年平均増加率(1980~1986) <World Development Report 1987>
- 4 総人口に占める割合:年齢層別<Demographic Yearbook 1987 >
- 5 平均世帯人員<同上 1982 >
- 6 婦人労働力人口の割合⁽⁴⁾ <Yearbook of Labor Statistics 1987 >
- 7 都市居住人口の割合⁽⁵⁾ <World Development Report 1988 >
- ☆ 8 都市居住人口の年平均増加率(1980~1985) <同上>
- 9 国民一人当たりGNP⁽⁶⁾ <同上>
- 10 GDPに占めるサービス業の割合⁽⁷⁾ <同上>
- ☆ 11 中央政府支出費の割合-住宅・地域環境・社会保障・福祉<同上>
- ☆ 12 中央政府支出費の割合-防衛<同上>
13. 人口1000人当たりTV受信機数<ユネスコ文化統計年鑑 1987 >
- ◇ 14 人口1000人当たり図書出版数<同上>
- ◇ 15 人口1000人当たり日刊一般紙発行部数<同上>
- 16 人口1000人当たり婚姻率<Demographic Yearbook 1987>
- 17 人口1000人当たり離婚率<同上>
- 18 中央政府支出費の割合-教育<World Development Report 1988>
- 19 第1段階教育の在学率:男女別<ユネスコ文化統計年鑑 1987 >
- 20 第3段階教育の女子在学率⁽⁸⁾ <同上>

- ☆21 15歳以上の文盲率⁽⁹⁾ <同上>
- 22 平均寿命 <Demographic Yearbook 1987 >
- 23 人口1000人当り出生率 <World Health Statistics 1987 >
- 24 合計出生率⁽¹⁰⁾ <World Development Report 1988>
- 25 出生率の変化(1965~1985) <同上>
- 26 母の年齢別出生数の比率:母の年齢別 <Demographic Yearbook 1987>
- ☆27 保健職員による介添出産の割合 <世界子供白書 1988>
- 28 避妊用具使用の既婚女性の比率 <World Development Report 1988>
- 29 合法的人工妊娠中絶数の出生数割合 <Demographic Yearbook 1987 >
- 30 低出生体重児の割合⁽¹¹⁾ <World Development Report 1988 >
- 31 出生数1000人当り後期死産率⁽¹²⁾ <Demographic Yearbook 1987>
- 32 出生数10万人当り妊産婦死亡率⁽¹³⁾ <同上>
- 33 出生数1000人当り周産期死亡率⁽¹⁴⁾ <同上>
- 34 出生数1000人当り新生児死亡率⁽¹⁵⁾ <同上>
- 35 出生数1000人当り乳児死亡率⁽¹⁶⁾ <同上>
- ◇36 1歳~4歳児死亡率 <同上>
- ◇37 中央政府支出費の割合-保健費 <World Development Report 1988>
- ☆38 研究開発費に占める保健サービスの割合⁽¹⁷⁾ <ユネスコ文化統計年鑑 1987 >
- 39 人口10万人当り第3段階教育の医学・保健学科在学者数 <同上>
- ◇40 医師一人当り人口 <World Development Report 1988>
- ◇41 看護人一人当り人口 <同上>
- 42 人口1万人当り産科病床数 <World Health Statistics 1987 >
- ☆43 人口1万人当り小児科病床数 <同上>
- ☆44 母乳育児の比率:月齢別 <世界子供白書 1988>
- 45 安全な水のある人口の比率 <World Health Statistics 1987>
- ◇46 食糧供給量:カロリー、栄養素別 <FAO Production Yearbook 1986>
- 47 1歳児ハシカ予防接種率 <世界子供白書 1988>

(2) 対象国

対象とする国は、面積及び人口による基準を設定せず、国際諸統計で報告されている国を網羅することとし

たので、合計 205国である。このうちモーリシャスは、注記されている場合はモーリシャス島のみの計数であり、連合王国(イギリス)は、注記されている場合はイングランド及びウエールズのみの計数である。またソビエト社会主義共和国連邦については、白ロシア及びウクライナ・ソビエト社会主義共和国の計数を別掲・再掲していない。

(3) 計数の記載

上記47項目、60細項目について、205 国別計数を記載した。すべて研究の時点において最新のデータを用いたが、国により報告年次が異なる場合は、国毎に年次を附記した。しかし、概ね 1985、1986年の計数を基本としているので、それより10年以上過去のデータは除外した。したがって計数の無いものは、1975年以後のデータが報告されていないもの、計数の報告されていないもの及び計数不明のものである。

2 結果

世界の母子保健水準について、各国別、各項目別にまとめたものが、表1である。また、項目別に、有効データ国数、最大値及びその該当国、最小値及びその該当国について分析したものが、表2であり、項目別にアフリカ、北アメリカ、南アメリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニアの地域別に、平均値を算出した結果が、表3のとおりである。

3 分析

今回は、データの収集と若干の分析にとどまっております。多変量解析等による水準の分析及び指標に関しては次年度で詳細に検討する予定である。本年度は、とくに地域別に比較、検討を加えた。

(1) 母子保健水準の間接的因子

前回の結果と比較すると、人口の年平均増加率はあまり減少していない。また、総人口に占める年齢層別割合をみると、より高齢化が見られるが、しかし総体的には地域による相違が顕著であり、平均寿命の低いアフリカ諸国の5歳未満の割合は他の地域より非常に高く、また平均寿命の高いヨーロッパ諸国の65歳以上の割合は他の地域より著しく高い。他の地域はその中間にある。

国民一人当りGNPは、相変わらず地域間隔差が著しく、ヨーロッパ、オセアニア地域以外は平均をはるかに下廻り、とくにアフリカ、南アメリカ諸国の低さは、あらためて南北間の隔差を示している。中でもアフリカ諸国の、中央政府が住宅、地域環境、社会保障、福祉に支出する割合や、TV、出版等の文化水準等、他の因子と連動している面が多い。

婚姻、離婚では、グアム等オセアニア諸国に共に高い国が多く見られるのが特徴である。

教育に関してみると、国民一人当たりGNPが高い国程その水準は高いが、しかし中央政府が教育に支出する割合が低いという特徴がある。

(2) 母子保健水準の直接的因子

まず、母子保健水準をみるうえで最も参考とされることの多いN032~35の死亡率4項目について、地域別に前回の平均値と今回のそれとを比較すると、表4のとおりである。アフリカ諸国では、計数が報告されている国は3~4か国と少ないため、分析は不十分であるが、参考に平均値を計上した。

妊産婦死亡率は、南アメリカ、アフリカ諸国がまだ非常に高く、100を越える国々もよくみられる。また、北アメリカ諸国の平均値も50を越えている。一方、ヨーロッパ、オセアニア諸国は平均20を下廻り、表2にみるように、最高値のバラグアイ（南アメリカ）の382.9から最低値のデンマークの1.9までその隔差は著しい。

後期死産、新生児、乳児の死亡率は、同じくアフリカ、南アメリカ諸国の割合が高く、報告の少ないアフリカで乳児死亡率が70を越える国が多い。新生児、乳児死亡率は、北アメリカよりもアジア諸国の方が高くなっている。

これらの死亡率は、前回の結果と比較して総体的に低下し、水準が向上していることが示唆されるが、表3にみるように、幼児期においても1歳から4歳にかけてアフリカ諸国の死亡率はきわめて高く、母子保健水準の直接的因子と関連してあらためて検討すると、他の地域と非常に異なる状況とその背景に注目する必要がある。

なお低出生体重児の割合は、ヨーロッパ、南アメリカ諸国以外で10%を越えている。

次に出生の動向を見ると、前回より出生数、出生率が低下しつつある傾向が同われるが、しかしアフリカ諸国ではその傾向は見られない。上述の点は、この点とも関連していると考えられる。

中央政府が支出する保健費の割合は、総体的に低く、20%に達しているところは無く、オセアニア及び北アメリカ諸国が平均10%を越える程度である。しかし、保健関係の研究開発費は地域的にも国別にみても差が著しくみられる。

医師、看護人、医学・保健学科学者の数ならびに病床数をみると、ヨーロッパ諸国の水準は著しく高く、アフリカ諸国のそれは非常に低い。また母子保健水準が総体的に高いオセアニア諸国では、学生数、医師の数はむしろ多くなく、母子保健水準が総体的に低い南アメリカ諸

国では、この面の水準は決して低くない。

栄養面についてみると、ヨーロッパ諸国の母乳育児の比率は、他の計数の示されている地域のそれよりも非常に低くなっており、カロリー供給、蛋白質や脂肪供給の水準は、ヨーロッパ諸国とアフリカ諸国との対比が著しく、栄養面においても先にふれた事柄と関連性が高い。

註

- (1) 堀口貞夫他『諸外国の母子保健制度—I 世界の母子保健水準にかかわる指標 1』日本総合愛育研究所紀要第20集 P.17~40 1984 12
- (2) 堀口貞夫他『諸外国の母子保健制度-II』日本総合愛育研究所紀要第21集 P.31~63 1986 1
- (3) 網野武博他『諸外国の母子保健制度-III』日本総合愛育研究所紀要第22集 P.40~50. 1987 2
- (4) 婦人労働とは、雇用、非雇用にかかわらず、現に経済活動に従事している婦人の労働をいい、家事労働は含まない。
- (5) 都市居住人口とは、人口10万人以上の都市に住む人口の総数である。
- (6) GNP (Gross National Products) とは、国民総生産を意味し、GDP (4) にその国の居住者が国外で得た所得を加算し、非居住者が国内で得た所得を控除した値である。
- (7) GDP (Gross Domestic Products) とは、国内総生産をいう。
- (8) 第3段階教育とは、いわゆる高等教育の段階をいう。
- (9) 文盲とは、不就学の状態をいう。
- (10) 合計出生率とは、一人の女性が出産可能年齢終了まで生存し、現行の特定年齢の出生率と同じだけの数の子どもを毎年出産するとしたときの、女性一人が生む子供の数をいう。
- (11) 低出生体重とは、2500g未満をいう。
- (12) 後期とは、妊娠満28週以降をいう。
- (13) 妊産婦とは、妊婦、産婦及び褥婦をいう。
- (14) 周産期とは、妊娠後期及び出生後7日未満をいう。
- (15) 新生児とは、出生後28日未満の児童をいう。
- (16) 乳児とは、出生後1年未満の児童をいう。
- (17) 研究開発経費とは、研究及び実験開発活動のための経費をいい、国により、経費負担の分野は異なる。

	22 平均寿命 <年次は男の欄に表記>		23 人口一千人当り出生率	24 合計出生率	25 出生率の变化 85/65	26 母の年齢別出生率の比率 <年次は～19歳に表記>			27 保健介入による割合 84	28 避妊具使用の比率 85	29 合法的人工妊娠中絶数	30 低出生体重児の割合	31 出生数一千万人当り産率	32 出生数一百万人当り死亡率	33 出生数一千万人当り死亡率	34 出生数一千万人当り死亡率	35 出生数一千万人当り死亡率	36 1歳～4歳児死亡率 <年次は男児に表記>		37 中央政府保健支出費の割合	38 保健サービスに占める割合	39 人口一千万人当り保健サービスに占める割合	40 医師一人当り人口	
	男	女				～19歳	20歳～29歳	30歳～										男児	女児					%
<アジア>						%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
106 アフガニスタン	36.6	37.3				13.4	50.1	36.6				20						28.9	25.8			18.6		
107 バーレーン	65.9	68.9				8.0	60.5	31.4										14.1	15.8	5.3		233.0		
108 バングラデシュ	54.9	54.7	41	5.6	-14.6	19.1	55.8	25.2		25		50										15.2	9690	
109 ブータン	46.6	45.1	40	5.7	-0.7																			
110 ブルネイダルサラム	70.1	72.7				6.3	61.7	32.0				7												
111 ビルマ	58.9	63.7	33	4.4	-24.7					97		6												
112 中国	66.7	68.9	19	2.3	-53.8					74													15.7	
113 キプロス	72.3	76.0				6.8	68.3	24.9															31.4	
114 民主カンボジア	42.0	44.9																						
115 民主イエメン	46.9	49.9	49	6.6	-7.5					10		12											20.6	
116 東チモール	39.2	40.7	16									8		5.2	13.6									
117 ホンコン	73.8	79.2		1.9	-48.1	2.5	66.5	31.1		72							0.5	0.4			2.8		45.6	
118 インド	52.5	52.1	32	4.4	-27.2					33		30								2.1				
119 インドネシア	52.2	54.9	28	3.6	-24.4					35	2	14								1.9			15.5	
120 イラン回教共和国	55.8	55.0	41	5.6	-18.8					40		4											70.7	
121 イラク	61.5	63.3	44	6.7	-9.4	8.9	52.6	38.5		60		15	10.9			18.6	12.7	30.6	2.2	1.9			1810	
122 イスラエル	73.1	78.6	22	2.9	-12.8	4.6	59.5	35.9		99		5		5.1	8.0	12.1	7.9	11.9	0.5	0.6	3.4		157.2	
123 日本	74.8	80.5	12	1.8	-33.2	1.2	65.0	33.8		100	64	7		15.8		8.0	3.4	5.5	0.6	0.4	5.2		123.0	
124 ヨルダン	61.9	65.5	39	6.0		9.0	35.8	55.2		75	27	10					3.1	14.2	2.4	2.0	3.8		131.0	
125 朝鮮民主主義人民共和国	64.6	71.0	29	3.7	-24.5					100														
126 大韓民国	62.7	69.1	20	2.2	-40.0	3.3	84.8	11.9		65	70	9		12.6	22.0	11.5	18.5	2.0	1.9	1.5			196.4	
127 クエート	69.6	73.7	32	4.8	-28.5	6.7	56.0	37.2		99		7						0.7	0.9	7.1			700	
128 ラオス人民民主共和国	48.3	51.2	39	5.9								35												
129 レバノン	63.1	67.0										10												
130 マカオ						1.5	71.6	26.9															21.8	
131 マレーシア	67.6	72.7	29	3.5	-26.2					82	51	10											96.8	
132 半島マレーシア						4.7	60.2	35.1					11.4										18.6	
133 サバ						12.9	60.1	26.9																
134 サラワク																								
135 モルジブ	53.4	49.5																						
136 モンゴル	60.0	64.1	34	4.7	-16.4					100													400	
137 ネパール	50.9	48.1	41	5.9	-5.5					10	15												7.0	
138 オーマン	51.0	53.7	45	6.9	-12.5							14												
139 パキスタン	59.0	59.2	47	6.8	-12.5	4.5	49.5	46.0		24	11	28					49.0	94.5	12.5	15.8	1.0		1.7	
140 フィリピン	60.2	63.7	35	4.6	-21.3	8.4	59.1	32.5		44		15	2.8	105.5	21.8	18.7	41.8	6.5	5.6	6.0	9.7		230.6	
141 カタール	65.4	69.8																						
142 サウジアラビア	59.2	62.7	42	7.1	-12.4							6											47.9	
143 シンガポール	68.7	74.0	16	1.7	-44.0	2.5	62.8	34.7		100	74	8						0.5	0.3	6.5	3.1		1800	
144 スリランカ	67.8	71.7	24	2.9	-21.7	7.5	61.5	31.0		87	62	25											44.3	
145 シリア・アラブ共和国	63.8	64.7	45	6.9	-7.2							9											20.4	
146 タイ	57.6	63.6	25	3.0	-37.4	12.6	60.4	27.1		37	65	12	1.2										163.5	
147 トルコ	60.0	63.3	29	3.7	-26.7					96	62	8												
148 アラブ首長国連邦	65.4	69.8	28	5.7	-25.9	8.1	59.8	32.1		100	20	7											80.9	
149 ベトナム	56.7	61.1	34	4.5	-22.6					12		25												
150 イエメン	46.9	49.9	49	6.8	-1.4																		7120	

49	チュニジア	950	°° 1.9	°° 1.7	95	92	71	°° 89.0	2827	79.1	21.4	68.0	39.5	65
50	ウガンダ	2000			85	70	20	°° 16.0	2291	53.6	18.1	24.1	32.4	33
51	タンザニア連合共和国				100	90	70	°° 52.1	2314	52.2	18.1	30.3	29.0	67
52	西サハラ													
53	ザイール	1740	°° 4.4		100	100	85		2154	33.5	18.2	34.7	8.9	30
54	ザンビア	1660		°° 0.39				°° 48.0	2123	56.4	16.8	35.4	19.2	55
55	ジンバブエ	1000	°° 0.62		98	95	84	°° 52.0	2094	51.0	15.9	43.2	26.2	53
<北アメリカ>														
56	アンチグワ=バルブダ		°° 2.0	°° 5.8				°° 95.0	2105	57.7	57.9	65.6	58.7	
57	バハマ		°° 2.8	°° 2.2				°° 59.0	2703	76.2	60.6	90.8	85.8	
58	バルバドス							°° 52.0	3129	88.2	60.5	106.4	56.3	
59	ベリーズ								2546	66.6	49.7	68.5	81.6	
60	バミューダ		°° 3.7	°° 4.0					2530	92.1	68.7	100.9	73.1	
61	英領バージン諸島													
62	カナダ	120	°° 0.07	°° 1.2	26	13		°° 97.0	3443	94.2	61.7	155.7	63.1	
63	カイマン諸島													
64	コスタリカ		°° 0.53	°° 2.0	38	20	9	°° 88.0	2772	64.4	41.0	66.2	40.0	95
65	キューバ	370	°° 7.2	°° 7.9				°° 61.2	3094	76.2	47.4	68.2	66.6	85
66	ドミニカ							°° 77.0	2615					
67	ドミニカ共和国				65	50	25	°° 62.0	2468	51.9	36.2	62.5	32.8	89
68	エルサルバドル	1240	°° 2.3	°° 3.8				°° 55.0						24
69	グリーンランド													
70	グレナダ							°° 85.0	2371	57.8	46.0	69.6	39.5	
71	グアドループ		°° 4.6	°° 4.6					2672	87.4	58.4	76.4	61.9	
72	グアテマラ	1360				84	74	°° 51.0	2298	60.4	21.0	44.8	28.3	42
73	ハイチ		°° 0.77	°° 0.85	90	71	29	°° 33.0	1843	44.0	15.9	30.3	22.1	21
74	ホンジュラス	690	°° 1.3		48	28	24	°° 69.0	2208	54.0	25.2	45.4	39.4	55
75	ジャマイカ	550	°° 2.5	°° 4.0	57	40	16	°° 73.0	2576	59.2	38.2	63.7	34.4	36
76	マルチニーク		°° 6.3	°° 5.6					2630	83.4	50.8	64.0	54.8	
77	メキシコ				62	48	27	°° 74.0	3147	81.3	35.5	88.7	46.4	74
78	セントセザト													
79	オランダ領アンチル諸島								2850	88.0	65.8	100.1	67.2	
80	ニカラグア	590					71	°° 56.0						51
81	パナマ		°° 3.5	°° 12.8	62	48	30	°° 62.0	2420	60.7	48.6	65.0	47.4	83
82	元運河地帯													
83	プエルトリコ			°° 0.20										
84	セントクリストファー=ネビス		°° 6.7	°° 7.6				°° 75.0	2233	60.9	54.4	68.2	46.6	
85	セントルシア							°° 70.0	2421	64.3	56.1	65.1	53.0	
86	サンピエール=ミケロン													
87	セントピエール=グレナジン							°° 75.0	2684	65.5	39.1	62.6	35.0	
88	トリニダード=トバゴ	390	°° 1.0		59	50	14	°° 87.0	2967	78.1	49.1	80.0	46.4	45
89	タークス=カイコス諸島													
90	アメリカ合衆国	180	°° 0.05		33	25	8	°° 100.0	3652	104.4	66.4	167.2	58.6	82
91	米領バージン諸島													
<南アメリカ>														
92	アルゼンチン							°° 67.0	3195	104.4	63.1	108.7	63.8	67
93	ボリビア			°° 0.14	93	91	48	°° 43.0	2114	54.9	33.0	45.0	65.1	65
94	ブラジル	1140			59	19	5	°° 75.0	2629	60.6	34.5	56.8	45.1	63
95	チリ	450	°° 5.1	°° 6.9				°° 85.0	2589	69.4	35.2	55.3	49.5	91
96	コロンビア		°° 0.16	°° 1.4				°° 91.0	2578	56.7	41.6	53.5	49.2	51
97	エクアドル							°° 59.0	2031	45.0	46.7	53.6	45.5	50
98	フォークランド諸島													
99	仏領ギアナ		°° 5.7	°° 8.7					2783	88.4	57.6	81.7	70.9	
100	ガイアナ				77	60	35	°° 80.0	2492	54.2	36.3	41.1	38.7	42
101	パラグアイ	650	°° 0.38		80	77	49	°° 25.0	2813	78.6	37.3	72.8	53.3	46
102	ペルー	1010	°° 0.41	°° 0.42	80	67	37	°° 52.0	2144	56.8	34.5	39.1	45.3	41
103	スリナム							°° 89.0	2666	64.3	40.4	51.6	40.3	
104	ウルグアイ	190	°° 1.4	°° 4.1	51	21	13	°° 83.0	2721	79.1	61.1	95.8	73.9	76
105	ベネズエラ		°° 5.1	°° 5.5	50	40	30	°° 83.0	2550	69.0	49.3	71.3	49.4	56

	41 看婦一人 当り人口81	42 人口二 万産科 床数	43 人口二 万人小 児科床 数	44 母乳育児の比率			45 安全な 水の比 率	46 食 糧 供 給 量 83-85					47 一歳ハ ンカ予 防接種 率
				80-86				一日 一人 当り 供給 量	一たん ばく 当り 供給 量	一日 一人 当り 動物 性の 割合	一日 一人 当り 脂肪 供給 量	一日 一人 当り 動物 性の 割合	
				3 か 月	6 か 月	12 か 月							
<アジア>													
106 アフガニスタン		⁰¹ 0.16	⁰¹ 0.16	20	60	5	⁰⁴ 13.0						
107 バーレーン		⁰⁰ 5.0	⁰⁰ 3.1				⁰³ 100.0						
108 バングラデシュ	19370	⁰¹ 0.01	⁰¹ 0.02	98	97	89	⁰³ 40.0	1859	38.6	11.1	18.5	23.2	3
109 ブータン	8310												15
110 ブルネイダルサラム		⁷⁹ 0.97	⁷⁸ 2.6				⁰⁴ 90.0	2790	72.6	51.2	78.0	52.1	
111 ビルマ	4920	⁰¹ 0.28	⁰¹ 0.13	90	90	90	⁰³ 25.0	2518	65.9	12.7	41.7	18.0	3
112 中国	1670		⁰¹ 0.06				⁰⁴ 100.0	2564	60.2	14.0	38.0	46.3	63
113 キプロス		⁰¹ 11.1	⁰¹ 3.7										
114 民主カンボジア				100	93	79							54
115 民主イエメン	820			80	60	55	⁰³ 50.0	2293	66.3	31.2	38.4	52.3	6
116 東チモール													
117 ホンコン	790	⁰¹ 4.8	⁰¹ 3.0		18			2715	79.3	59.3	107.1	55.3	
118 インド	4670						⁰³ 54.0	2161	52.3	12.0	35.7	23.8	1
119 インドネシア	2300	⁷⁹ 0.64		98	97	83	⁰⁴ 33.0	2504	51.4	10.7	39.6	7.8	47
120 イラン回教共和国	1160						⁰³ 71.0						73
121 イラク	2250	⁰¹ 0.72	⁰¹ 1.3				⁰³ 80.0						75
122 イスラエル	130	⁰¹ 4.8	⁰¹ 4.1				⁰⁴ 98.0	3049	101.5	51.8	109.6	38.3	85
123 日本	210							2804	85.6	51.1	81.3	43.7	73
124 ヨルダン	1160	⁰⁰ 1.1	⁰¹ 0.48	70	52	25	⁰⁴ 97.0						39
125 朝鮮民主主義人民共和国		⁰⁰ 0.06	⁰⁰ 0.03				⁰³ 100.0	3131	83.3	16.3	34.0	37.9	44
126 大韓民国	350			94	93	84	⁰³ 83.0	2822	73.6	24.9	45.7	46.0	88
127 クエート	180	⁰⁰ 9.1	⁰⁰ 3.7				⁰³ 100.0	3135	92.5	52.3	101.6	50.9	5
128 ラオス人民民主共和国													4
129 レバノン				50	40	15	⁰³ 98.0						30
130 マカオ								2109	58.4	53.4	74.1	60.2	
131 マレーシア	1390	⁰¹ 0.50		47	34	19	⁰³ 71.0	2634	54.5	40.9	67.8	33.9	48
132 半島マレーシア													
133 サバ													
134 サラワク													
135 モルジブ							⁰³ 17.0						
136 モンゴル	240	⁰¹ 9.1	⁰¹ 17.5				⁰³ 100.0	2811	92.0	53.5	78.3	87.9	10
137 ネパール	33390	⁰⁰ 0.10	⁰⁰ 0.03	99	99	97	⁰³ 16.0	2048	53.0	15.3	27.5	35.6	66
138 オーマン		⁰¹ 3.5	⁰¹ 3.4										76
139 パキスタン	5870	⁰¹ 0.42	⁰¹ 0.16	78	73	67	⁰³ 44.0	2186	56.4	24.5	47.9	34.2	40
140 フィリピン	2640	⁰⁰ 0.14	⁰⁰ 0.03	68	58	28	⁰⁵ 64.5	2313	48.7	32.9	32.4	46.6	53
141 カタール		⁰¹ 5.8	⁰¹ 2.4				⁰² 95.0						
142 サウジアラビア	730	⁰¹ 1.2		91	52		⁰³ 93.0	3093	88.8	43.7	95.7	39.8	79
143 シンガポール	340	⁰¹ 3.8	⁰¹ 2.5				⁰² 100.0	2729	73.2	57.0	69.6	70.0	73
144 スリランカ	1260	⁰¹ 0.47	⁰¹ 0.41	83	74	48	⁰³ 37.0	2410	47.3	16.1	49.9	10.8	47
145 シリア・アラブ共和国	1390	⁰⁰ 0.55	⁰¹ 0.49	88	72	41	⁰⁴ 71.0	3198	85.1	26.9	84.5	37.8	70
146 タイ	2140	⁰¹ 0.17	⁰⁰ 0.10	48	47	20	⁰³ 70.0	2440	47.8	23.0	29.3	33.1	39
147 トルコ	1240	⁰¹ 1.3		99	91	51	⁰³ 67.0	3180	84.3	21.5	76.8	25.1	36
148 アラブ首長国連邦	390	⁰¹ 5.6	⁰¹ 4.5				⁰³ 100.0	3644	98.7	46.5	108.3	55.0	66
149 ベトナム	1260	⁰¹ 0.87	⁰¹ 1.7	93	88	20							37
150 イエメン	3450			80	76	55	⁰³ 31.0	2254	65.5	24.0	41.1	38.0	19

＜ヨーロッパ＞																	
151	アルバニア	77	15.1	77	4.7			00	92.0							96	
152	アンドラ																
153	オーストリア	170	01	7.4	01	10.0		00	100.0	3484	91.9	64.3	170.2	68.1	25		
154	ベルギー	130	01	4.8	01	6.7		04	95.0								
155	ブルガリア	190	01	12.5	01	9.7		00	96.0	3626	105.8	44.6	117.4	56.3	99		
156	チェコスロバキア	130	01	10.7	01	9.9		03	74.5	3479	98.4	58.9	129.7	72.8	99		
157	デンマーク	140	79	5.9	79	2.8		02	100.0	3529	97.3	65.9	170.5	79.7			
158	フェロー諸島																
159	フィンランド	100	00	7.7	00	4.8		04	79.0	3008	89.6	63.8	128.4	80.1	81		
160	フランス	110	77	6.0				03	98.0	3337	106.6	66.0	143.5	66.7	55		
161	ドイツ民主共和国		76	10.6	76	9.0		05	90.0	3768	108.1	59.5	148.5	75.7	25		
162	ドイツ連邦共和国	170	00	9.6	00	4.6		04	100.0	3475	92.8	63.5	155.1	71.4	99		
163	ジブラルタル		77	17.4	77	6.3											
164	ギリシャ	370	01	4.3	01	1.8				3660	107.8	49.4	148.5	45.1	77		
165	バチカン																
166	ハンガリー	160	01	9.9	01	9.0	45	21	4	04	84.0	3522	95.0	54.5	140.0	79.6	99
167	アイスランド									04	100.0	3041	112.9	77.4	126.6	74.7	
168	アイルランド	140	00	6.6	00	4.1			04	96.6	3795	107.3	59.2	149.3	79.1	63	
169	イタリア	250	79	6.3	79	5.2			01	98.8	3466	104.7	53.1	140.4	52.1	12	
170	リヒテンシュタイン																
171	ルクセンブルグ								04	100.0							
172	マルタ								03	100.0	2590	79.8	54.8	83.7	66.8		
173	モナコ		01	8.1	01	4.6											
174	オランダ	170	00	0.25	00	0.43	17		02	99.8	3355	95.5	66.1	162.4	67.3	93	
175	ノルウェー	70	01	0.11					03	99.0	3203	96.7	65.6	139.5	63.8	90	
176	ポランド	230	79	0.56	79	2.0	42	32	00	67.0	3253	97.5	52.8	105.3	77.5	95	
177	ポルトガル		76	1.3	76	0.6			00	57.0	3135	84.5	40.5	98.5	45.1	66	
178	ルーマニア	280	01	10.2	01	10.4			00	77.0	3394	102.4	43.3	96.9	64.0	88	
179	サンマリノ								03	100.0							
180	スペイン	280	79	5.8	79	4.2			03	95.0	3335	93.6	53.2	137.7	51.4	79	
181	スウェーデン	100	00	6.5	00	2.8			03	100.0	3053	92.7	66.6	131.9	69.7	92	
182	スイス	130	76	0.95	76	1.9			04	99.1	3440	91.6	67.2	160.7	70.5		
183	連合王国 (イギリス)	120							05	100.0	3130	85.5	59.9	140.4	64.7	62	
184	ユーゴスラビア	300	00	6.0	00	4.7			01	67.8	3599	101.4	38.4	107.8	62.9	91	
＜オセアニア＞																	
185	米領サモア		01	9.4	01	16.6											
186	オーストラリア	140							02	98.6	3343	96.4	63.6	137.3	60.5	68	
187	クック諸島		01	6.1	01	8.9			04	80.0							
188	フィジー		01	4.6	01	1.7			00	83.3	2932	63.6	32.9	64.6	39.0		
189	仏領ポリネシア		79	2.7	79	7.2				2860	70.4	45.9	101.7	45.6			
190	グアム		79	3.7	79	2.4											
191	キリバス		01	1.5	01	3.7				2616	58.4	37.7	92.3	13.1			
192	ナウル																
193	ニューカレドニア									2909	75.6	53.3	95.1	43.6			
194	ニュージーランド	150							04	100.0	3402	103.6	67.5	147.6	80.4	71	
195	ニウエ																
196	ノーフォーク島																
197	バシフィック諸島		00	4.3	00	7.6											
198	バプアニューギニア	930															29
199	サモア		01	3.9	01	4.3			02	80.0	2373	55.1	42.6	81.0	38.0		
200	ソロモン諸島									2085	48.6	39.1	52.1	23.8			
201	トケラウ諸島																
202	トンガ								04	95.0	2870	73.1	34.2	89.9	39.8		
203	ツバル																
204	バヌアツ								05	45.0	2331	60.7	46.6	89.9	39.8		
＜ソ連＞																	
205	ソ連社会主義共和国連邦								05	100.0	3403	98.3	49.6	99.2	66.4	95	

表2 項目別データ分析表

		有効データ国数	最 大 値	該 当 国	最 小 値	該 当 国			
1	人口密度 (人口/km ²)	162	5,309	ホンコン	1	西サハラ、仏領ギアナ、モンゴル			
2	人 口 (万人)	206	107,222	中国	0.1	バチカン			
3	人口の年平均増加率 (1980~1986) (%)	130	5.6	アラブ首長国連邦	-0.2	ドイツ連邦共和国			
4	総人口に占める割合 (%)	~ 4歳	'79	21.09	ベナン	'82	3.38	モナコ	
		5 ~ 14歳	'80	30.85	ニカラグア	'82	8.48	モナコ	
		65 ~ 歳	'82	22.53	モナコ	'82	1.21	カタル	
5	平均世帯人員 (人)	47	'80	7.1	米領サモア	'81	2.7	連 合 王 国 (イギリス)	
6	婦人労働力人口の割合 (%)	92	79.9	スウェーデン	'77	4.4	ニジェール		
7	都市居住人口の割合 (%)	121	100	シンガポール	2	ブルンジ			
8	都市居住人口の年平均増加率 (1980~1985) (%)	121	8.4	ザール、スリランカ	0.1	ドイツ連邦共和国			
9	国民1人当りGNP (ドル)	109	17,480	アメリカ合衆国	120	エチオピア			
10	GDPに占めるサービスの割合 (%)	97	73	パナマ	18	ウガンダ			
11	中央政府支出費の割合 - 住宅・ 地域環境・社会保障・福祉 (%)	73	51.8	スウェーデン	0.0	ブラジル、マレーシア、イエメン、アラブ共和国			
12	中央政府支出費の割合 - 防衛 (%)	71	60.0	ユーゴスラビア	0.0	パナマ			
13	人口1000人当りTV受信機数	165	798	アメリカ合衆国	0.1	ブルンジ、マリ			
14	人口1000人当り図書出版数	59	153,000	バチカン	1.4	ブルキナファソ			
15	人口1000人当り日刊一般紙発行部数	119	562	日本	'84	0.1	ルワンダ		
16	人口1000人当り婚姻率	109	13.7	リヒテンシュタイン	2.6	ルワンダ			
17	人口1000人当り離婚率	77	7.68	グアム	0.15	スリランカ			
18	中央政府支出費の割合 - 教育 (%)	70	24.5	エクアドル	0.6	ドイツ連邦共和国			
19	第1段階教育の在学率 (%)	男	104	100	※註	9	ニジェール		
		女	104	100	※註	3	ニジェール		
20	第3段階教育の女子在学率 (%)	123	'85	61.1	アメリカ合衆国	'83	0.0	ブータン	
21	15歳以上の文盲率 (%)	101	'75	93.3	ブルキナファソ	'79	0.1	白ロシアソビエト社会主義共和国、ウクライナソビエト社会主義共和国	
22	平 均 寿 命 (歳)	男	161	'85	74.84	日本	'80~85	32.50	シエラレオネ
		女	161	'85	80.46	日本	'80~85	35.50	シエラレオネ
23	人口1000人当り出生率	126	53	マラウイ	10	ドイツ連邦共和国			
24	合計出生率 (人)	126	8.0	ルワンダ	1.3	ドイツ連邦共和国			
25	出生率の変化(1965~1985) (%)	124	22.4	中央アフリカ	-54.8	ポーランド			
26	母の年齢別出生数の比率 (%)	~19歳	'84	36.4	英領バージン諸島	'85	1.2	日本	
		20~29歳		85.0	ノーフォーク島	35.8	ヨルダン		
		30~ 歳		45.8	アイルランド	10.6	英領バージン諸島		
27	保健職員による介添出産の割合 (%)	75	100	※註	2	ソマリア			
28	避妊用具使用の既婚女性の比率 (%)	70	83	連 合 王 国 (イギリス)	0	ソマリア			
29	合法的人工妊娠中絶数の出生数対 割合	27	113.4	ブルガリア	0.01	パナマ			
30	低出生体重児の割合	119	50	バングラデシュ	1	スペイン			

		有効データ国数	最大値	該 当 国	最小値	該 当 国
31	出生数1000人当り後期死産率	38	'85 20.8	グアテマラ	'82 1.2	タイランド
32	出生数10万人当り妊産婦死亡率	60	382.9	パラグアイ	1.9	デンマーク
33	出生数1000人当り周産期死亡率	47	43.0	モーリシャス	4.0	タイランド
34	出生数1000人当り新生児死亡率	47	54.6	マリ	3.1	ヨルダン
35	出生数1000人当り乳児死亡率	48	120.9	マリ	5.5	日本
36	1歳～4歳児死亡率 (%)	男	'77 97.7	マラウイ	'84 0.2	アイスランド
		女	'77 87.2	マラウイ	'84 0.1	アイスランド
37	中央政府支出費の割合－保健費 (%)	71	19.3	コスタリカ	1.0	パキスタン
38	研究開発経費に占める保健サービスの割合 (%)	75	'81 34.8	オーストリア	'81 0.2	スウェーデン
39	人口10万人当り第3段階教育の医学・保健学科在学者数	120	'85 618.0	ウルグアイ	'84 0.9	レソト
40	医師1人当り人口	110	88,150	エチオピア	270	ソビエト 社会主義共和国連邦
41	看護人1人当り人口	98	33,390	ネパール	70	ノルウェー
42	人口1万人当り産科病床数	110	17.4	ジブラルタル共和国	0.01	バングラデシュ
43	人口1万人当り小児科病床数	97	17.5	モンゴル	0.01	ナイジェリア
44	母乳育児の比率 (%)	3カ月	65 100	ガーナ、ギニア、 ギニアビサウ、タン ザニア、ザイール、 民主カンボジア	17	オランダ
		6カ月	73 100	ギニアビサウ ザイール	13	カナダ
		12カ月	72 98	ギニアビサウ	4	ハンガリー
45	安全な水のある人口の比率 (%)	146	100	※註	6	マリ
46	食糧供給量 (Kcal)	1日1人当りカロリー供給量	145 3,795	アイルランド	1,664	モザンビーク
		1日1人当りたんばく質供給量	144 112.9	アイスランド	29.1	モザンビーク
		1日1人当りたんばく質に対する動物性の割合 (%)	144 77.4	アイスランド	1.4	モザンビーク
		1日1人当り脂肪供給量	144 170.5	デンマーク	14.6	ルワンダ
		1日1人当り脂肪に対する動物性の割合 (%)	144 87.9	モンゴル	5.8	シエラレオネ
47	1歳児ハシカ予防接種率 (%)	125	99	ブルガリア、 チェコスロバキア、 ドイツ連邦共和国、 ハンガリー、	1	インド

(最大値及び最小値は1986年の計数であり、それ以外の計数は左側に年号を付した。)

註：最大値該当国名

「21 第1段階教育の在学率 (男)」

チュニジア、ジンバブエ、バルバドス、インドネシア、日本、カタール、シンガポール、シリア、アラブ共和国、スペイン、連合王国 (イギリス)、フィジー、ニュージーランド

「21 同 (女)」

ジンバブエ、日本、カタール、シンガポール、スペイン、連合王国 (イギリス)、フィジー、ニュージーランド

「29 保健職員による介添出産の割合」

アメリカ合衆国、日本、朝鮮民主主義人民共和国、モンゴ

ル、シンガポール、ベトナム、ベルギー、ブルガリア、チェコスロバキア、ノルウェー、スウェーデン、ソビエト社会主義共和国連邦

「47 安全な水のある人口の比率」

アメリカ合衆国、バーレーン、キプロス、朝鮮民主主義人民共和国、クウェート、モンゴル、シンガポール、アラブ首長国連邦、オーストリア、デンマーク、ドイツ連邦共和国、アイスランド、ルクセンブルグ、マルタ、サンマリノ、スウェーデン、連合王国 (イギリス)、ニュージーランド、ソビエト社会主義共和国

表3 地域別、項目別平均値

		アフリカ	北アメリカ	南アメリカ	アジア	ヨーロッパ	オセアニア	
1	人口密度 '85(人口/Km ²)	50	123	13	251	119	19	
2	人口 1986(万人)	1039.6	1154.6	1953.3	6390	1450.8	124.0	
3	人口の年平均増加率 (1980~1986) (%)	3.0	2.0	2.2	2.6	0.4	1.5	
4	総人口に占める割合 (%)	~4歳	17.2	11.8	13.1	13.5	6.7	13.2
		5~14歳	26.7	23.7	23.8	23.6	14.4	24.5
		65~歳	3.7	6.5	5.0	4.1	12.5	4.7
5	平均世帯人員 (人)	5.3	3.4	4.2	4.9	3.0	5.5	
6	婦人労働力人口の割合 (%)	30.4	33.8	20.8	25.4	37.6	48.8	
7	都市居住人口の割合 (%)	30	55	68	45	67	61	
8	都市居住人口の年平均増加率 (1980~1985) (%)	4.9	3.4	3.2	4.4	1.4	2.4	
9	国民1人当りGNP (ドル)	600	3676	1538	3353	8564	6700	
10	GDPに占めるサービスの割合 (%)	41	56	51	48	56	53	
11	中央政府支出費の割合-住宅・地域環境・社会保障・福祉 (%)	5.0	19.8	22.3	6.4	36.4	21.0	
12	中央政府支出費の割合-防衛 (%)	10.2	10.7	8.0	21.6	9.6	6.2	
13	人口1000人当りTV受信機数	24.2	219	120	131	310	269	
14	人口1000人当り図書出版数	129	1081	2566	2531	5002	45	
15	人口1000人当り日刊一般紙発行部数	15.3	106	80	98	289	155	
16	人口1000人当り婚姻率	6.7	6.2	5.8	7.3	6.9	8.1	
17	人口1000人当り離婚率	1.1	1.7	0.5	0.9	1.8	3.0	
18	中央政府支出費の割合-教育 (%)	15.7	11.3	12.1	12.3	7.2	11.7	
19	第1段階教育の在学率 (%)	男	69	81	92	84	93	91
		女	56	81	90	74	94	88
20	第3段階教育の女子在学率 (%)	1.5	22.0	16.7	10.5	21.5	15.4	
21	15歳以上の文盲率 (%)	51.8	20.9	15.7	35.6	6.3	16.2	
22	平均寿命 (歳)	男	47.7	65.2	62.0	59.2	70.4	63.2
		女	51.3	70.1	67.1	61.9	76.8	67.3
23	人口1000人当り出生率	44	28	29	33	14	22	
24	合計出生率 (人)	6.2	3.7	3.8	4.6	1.8	3.0	
25	出生率の変化(1965~1985) (%)	-2.9	-26.4	-21.5	-20.0	-28.6	-22.9	
26	母の年齢別出生数の比率 (%)	~19歳	10.5	19.7	13.2	7.3	7.1	10.2
		20~29歳	56.7	57.4	55.6	60.1	65.4	64.5
		30~歳	32.8	22.9	31.2	32.7	27.5	25.3
27	保健職員による介添出産の割合 (%)	46	77	56	63	99	77	
28	避妊用具使用の既婚女性の比率 (%)	15	27	49	43	74	4	
29	合法的人工妊娠中絶数の出生数対割合	18.0	27.1		26	33.7	14	
30	低出生体重児の割合	14	11	8	14	6	12	

		アフリカ	北アメリカ	南アメリカ	アジア	ヨーロッパ	オセアニア	
31	出生数1000人当り後期死産率	13.1	10.1	13.2	5.6	6.8	4.6	
32	出生数10万人当り妊産婦死亡率	73.2	53.0	120.3	28.8	17.2	18.2	
33	出生数1000人当り周産期死亡率	25.4	20.3	26.0	16.2	14.1	9.6	
34	出生数1000人当り新生児死亡率	24.7	11.3	16.4	14.1	9.1	6.4	
35	出生数1000人当り乳児死亡率	83.9	25.0	37.5	27.7	14.9	10.1	
36	1歳～4歳児死亡率 (%)	男	34.4	1.3	3.5	5.4	0.6	1.0
		女	32.4	1.2	3.3	5.4	0.5	0.8
37	中央政府支出費の割合-保健費 (%)	5.3	10.1	4.8	4.4	8.8	10.5	
38	研究開発経費に占める保健サービスの割合 (%)	0.5	9.0	10.7	5.2	8.6	27.2	
39	人口10万人当り第3段階教育の医学・保健学科在学者数	23.7	149.3	200.3	74.3	227.2	96.2	
40	医師1人当り人口	19226	2172	1417	4734	493	5580	
41	看護人1人当り人口	2308	610	688	3587	178	407	
42	人口1万人当り産科病床数	1.2	2.8	2.6	2.6	7.0	4.5	
43	人口1万人当り小児科病床数	0.9	4.5	3.9	2.2	5.2	6.6	
44	母乳育児の比率 (%)	3ヵ月			77	35		
		6ヵ月	84	46	54	72	27	
		12ヵ月	69		34	51	4	
45	安全な水のある人口の比率 (%)	44.0	70.7	69.3	69.0	91.3	83.1	
46	食糧供給量							
	1日1人当りカロリー供給量	2309	2663	2562	2644	3362	2772	
	1日1人当りたんぱく質供給量	57.1	71.5	67.8	69.5	97.5	70.6	
	1日1人当りたんぱく質に対する動物性の割合 (%)	23.3	48.1	43.9	32.5	57.9	46.3	
	1日1人当り脂肪供給量	49.6	78.2	63.6	61.2	135.8	95.2	
47	1歳児ハシカ予防接種率 (%)	46	60	59	44	75	56	

表4 地域別母子保健水準

		アフリカ	北アメリカ	南アメリカ	アジア	ヨーロッパ	オセアニア	
32	出生数10万人当り妊産婦死亡率の平均値	前	95.4	59.0	149.7	44.1	21.3	20.7
		回	73.2	53.0	120.3	28.8	17.2	18.2
33	出生数1000人当り周産期死亡率の平均値	前	24.3	23.3	28.4	18.9	15.4	17.6
		回	25.4	20.3	26.0	16.2	14.1	9.6
34	出生数1000人当り新生児死亡率の平均値	前	16.1	14.6	20.9	11.5	9.1	6.4
		回	24.7	11.3	16.4	14.1	9.1	6.4
35	出生数1000人当り乳児死亡率の平均値	前	73.7	31.2	44.1	38.5	14.6	18.0
		回	83.9	25.0	37.5	27.7	14.9	10.1

Study on Maternal and Child Health
Services in Foreign Countries

Sadao HORIGUCHI, Takehiro AMINO,
Kiyoko MIZUNO, Rie Someya,
Tadaaki KATO, Yuhko CHIGA

We have been continuing the international comparative study on the MCH for some years for the purpose of considering what we should re-evaluate and improve the maternal and child health in Japan.

As the third report of this project study, firstly, we summarized the task about how to promote the MCH services particularly focussed on the perinatal care. Secondly, we accumulated and analyzed the index related to the MCH standards which includes 47 contents and 60 sub-contents of 205 countries. The contents of index were as follows.

1	Inhabitants per sq.km.	24	Total fertility rates
2	Population	25	Change in birth rates
3	Increasing rate of population	26	Live birth by ages of mother
4	Percentage of Population by ages	27	Percentage of birth attendance by health personnel
5	Average size of households	28	Rate of married women who use contraception
6	Economically active population of females	29	Legally induced abortion rates
7	Urban population	30	Low birth weight infant rates
8	Average increasing rate of urban population	31	Late foetal mortality rates
9	GNP per citizen	32	Maternal mortality rates
10	"Services" rates of GDP	33	Perinatal mortality rates
11	Percentage of central government expenditure: housing, amenities, social security and welfare	34	Neonatal mortality rates
12	Percentage of central government expenditure: defence	35	Infant mortality rates
13	Number of receivers in use and/or licenses of TV	36	Mortality rates of 1 through 4 years of age
14	Number of books production	37	Percentage of central government expenditure: Health
15	Number of daily general-interest newspapers circulations	38	Percentage of "health services" expenditure for the performance of research and experimental development
16	Crude marriage rates	39	Rates of students in medical and health related science at the third level of education
17	Crude divorce rates	40	Number of physicians
18	Percentage of central government expenditure: education	41	Number of midwives and nurses
19	Enrolment ratios at the first level of education	42	Number of beds of maternity hospitals
20	Ratios of female at the third level of education	43	Number of beds of pediatric hospitals
21	Percentage of illiterates	44	Ratios of breast feeding by ages
22	Expectation of life at birth	45	Sanitary water supplied population
23	Birth rates	46	Dietary energy supplies
		47	Preventive vaccination rates of measles